

令和4年度
学校関係者評価報告書

令和5年6月
獨協医科大学附属看護専門学校

I. 領域別評価

1. 教育理念・目的・期待する卒業生像	<ul style="list-style-type: none">科学的な知識・技術に基づいた看護実践はもとより、豊かな人間性と倫理観を備え役割を理解し、主体的学修能力を習得するには、幅広い看護教育が求められており、患者・家族・医療関係者など、広く社会一般の人々から信頼される看護師育成を目指して、適切に教育に取り組んでいる。
2. 学校運営	<ul style="list-style-type: none">学則改正のもと新たに規定した諸規程により、業務を見直し委員会等を再編したことで、業務の効率化が図られ組織全体に活気が出て、業務健全化に繋がっている。適切な人事評価システムの構築により、教員の資質向上が図られ、教員としての成長に繋がることを期待する。
3. 教育活動	<ul style="list-style-type: none">シラバスの各科目の表記において統一を図り、さらに具体的表記にすることで、学習者の意欲向上に繋がると考えられる。学生時代にその地域の特性や課題を客観的に捉えることで、地域貢献が期待できるので、地域に目を向けた教育活動は重要と考えられる。教員が継続的に学び続ける環境や研究に専念できる機会を整えることは、より専門的な教育の実現へと繋がるものであるため、ぜひ実行することを期待する。
4. 学修成果	<ul style="list-style-type: none">国家試験合格率が全国平均を上回っており、入学時から合格率100%を目標に取り組み、国家試験への対応は大変評価できる。卒業生の実態調査の結果を本校でのキャリア教育に活かし、長く活躍できる看護師の育成に繋がることを期待する。
5. 学生支援	<ul style="list-style-type: none">学生個々の相談に応じ、指導体制をとっているが、学生が相談しやすい雰囲気・環境づくりを期待する。中途退学した学生への対応として、収集した情報から問題点を把握し、指導体制を構築するという方策が上っているので、退学率の低減に繋がることを期待する。コロナ禍にあっても、授業改革やホームカミングデイの実施など新しい取り組みを行っていることはすばらしい。これらの内容がより充実するよう期待する。
6. 教育環境	<ul style="list-style-type: none">教育環境の整備について、学習に支障がないよう努力と工夫がされ、教育活動に取り組んでいる。災害時の備蓄や防犯対策等が整備されている。最近は想定外のような災害やトラブル等も発生しているので、災害や防犯対策として訓練することを期待する。
7. 学生の募集と受入れ	<ul style="list-style-type: none">学校の独自性や獨協医科大学附属ならではの強みをアピールできるパンフレットになっている。今後も若年層向けのPR活動や優秀な人材の獲得に力を入れていくことを期待する。
8. 財務	<ul style="list-style-type: none">適切に評価されている。
9. 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none">自己点検・評価が適切に実施され、学校ホームページに公表できている。

10. 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナ感染対策上、人数制限等工夫をして大学祭では健康教育実施を行なうなど、制限内でできる工夫をしている。引き続き社会貢献、特に地域貢献できるよう、PRも兼ねて積極的に学外へ出ていく機会を作ることを期待する。・様々な人と触れ合う訓練にもなることから、ボランティア活動の推進を期待する。
---------------	---

II. 総括

開校 50 年目を迎える歴史と伝統のある学校であり、適切に学校運営がなされている。教育理念・教育目標に基づいた看護師を育成するため、教育活動や学生支援に取り組み、高い看護師国家試験合格率を維持していることから、学校が一丸となって鋭意努力をしていることが伺える。社会情勢や医療を取り巻く状況が厳しい中、専門職として広く社会や地域に貢献できる看護師の育成を期待する。